HPHPHPHPHHPHPHP

All Rights Reserved.

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
IBM PC、PC-DOS は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。
MS、Microsoft、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
TrueType は、米国 Apple Computers Inc. の登録商標です。
Intellifont は、米国 Miles Corporation, AGFA Compugraphic Division の登録商標です。
Hewlett-Packard、HP および LaserJet は、米国 Hewlett-Packard Company の登録商標です。

HPHPHPH

2. [コントロール パネル]ウィンドウから[プリンタ]アイコンを選択すると、[プリンタの設定]ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [設定(S)...]ボタンを選択します。
4. [設定]ダイアログ ボックスで、[OK]ボタンをクリックします。
5. [終了]ボタンをクリックします。

以上の操作を行なうと Windows ディレクトリの win.ini ファイルに以下のようなセクションが登録されます（LPT1 は、接続されたポート名）。

[HP LaserJet 5L (JAPAN),LPT1]

メモ帳などを使用して、このセクションに以下のエントリを登録するとクリップ境界上の文字の印刷が可能となります。

noBoundaryClipping=1

また、設定値を 0 にすることによりこの設定を解除することができます。この設定は、原則として個々の印刷ジョブ毎にチェックされますので、設定の変更のために Windows を再起動する必要はありません。

HPHPHPH

度をとくに重視する場合や印刷文書が特に複雑でメモリ・オーバーフローが発生する場合、マニュアルで詳細な設定を行うことも可能です。

ステータス・ウィンドウは、HP LaserJet 5L プリンタ用の Windows ソフトウェアです。ステータス・ウィンドウにより、ユーザはいつでもプリンタの現在のステータス（状態）を知ることができます。また、ステータス・ウィンドウは、プリンタに用紙が無くなったときなど、ユーザに知らせたいことが発生した時、ウィンドウ メッセージとして報告します。

HPHPHPH

1. プログラム マネージャの[メイン]グループより、[コントロール パネル]アイコンをダブル クリックします。
2. [コントロール パネル]ウィンドウから[プリンタ]アイコンを選択すると、[プリンタの設定]ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [追加>>]ボタンをクリックします。
4. [組み込むプリンタの選択]の一覧より,[一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み]を選択します(リストの最初の項目です)。
5. [組み込み(I)...]ボタンを選択します。
6. HP LaserJet 5L プリンティング ソフトウェアのフロッピー ディスクをディスク ドライブに入れ、ドライブ名を指定します。
7. "HP LaserJet 5L (JAPAN)" を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
8. [接続(C)...]ボタンを選択します。
9. [接続先(P)]の一覧から、プリンタを割り当てる接続先を選択します。
10. [高速に印刷]のチェック ボックスを選んで✕印を付け、[OK]ボタンをクリックします。
11. [設定(S)...]ボタンを選択します。
12. [設定]ダイアログ ボックスで、必要な設定を行います。
13. [OK]ボタンをクリックします。
14. [通常使うプリンタとして設定(E)]ボタンをクリックします。
15. [終了]ボタンをクリックします。

HPHPHPH

hptabj16.dll
hppjlmon.dll
hpljcomm.dll
hpj5g.hlp
readme5g.wri

win.ini ファイルの変更:

HP LaserJet 5L を通常使用するプリンタに設定するために以下の変更及び追加を行います。ここでは、プリンタポートを LPT1: に設定したものとします。

```
[windows]
device=HP LaserJet 5L,HPJ5G,LPT1:

[PrinterPorts]
HP LaserJet 5L=HPJ5G,LPT1:,15,45

[devices]
HP LaserJet 5L=HPJ5G,LPT1:
```

2) ステータス・ウィンドウに関して、以下のファイルが、windows ディレクトリにコピーされます。既に、存在している可能性のあるファイルに関しては、ファイル名の右に示したバックアップのファイル名で、バックアップを作成した後にコピーをします。バックアップのファイル名がないものは、バックアップを行わないことを意味します。

ファイル名	バックアップのファイル名
hppdf5lj.dll	
hp5lj.hlp	
hpsw.exe	
hpdeinst.exe	
printman.exe	printman.hpe
printman.hlp	printman.hph

又、以下のファイルが、windows\system ディレクトリにコピーされます。

ファイル名	バックアップのファイル名
hpljvpd.386	
commctrl.dll	
hplj4qp.dll	
threed.vbx	threed.hpv
hpljcomm.dll	
hppjlmon.dll	

win.ini ファイルの変更:

ステータス・ウィンドウの設定のため、セットアップ プログラムが以下の変更及び追加を行います。ここでは、プリンタ ポートを LPT1: に設定したものとします。

[windows]
load=hpsw.exe
DosPrint=no

[spooler]
QP.LPT1=hplj4qp.dll

注1: 時折、4LJ Pro Printing System の組み込み時に一時的な目的で作成された、 HPSETUP.T というディレクトリが、組み込み完了後も消去されずに残っている事があります。又、同様の現象が Printing System プログラムを削除した後も見られる事があります。その様な場合は、後で別個にこのディレクトリを削除してください。

注2: セットアップ プログラムが windows\system ディレクトリにインストールする threed.vbx は、一種の汎用プログラム ライブラリで、他のアプリケーションでも使用することがあります。アプリケーションによっては、独自の機能を追加しカスタマイズしたり、古いバージョンの threed.vbx を windows ディレクトリにインストールすることがあるようです。この場合、windows ディレクトリの threed.vbx が優先的に使用され、セットアップ プログラムが windows\system ディレクトリにインストールした threed.vbx が使用されないため、ステータス・ウィンドウの表示に影響がでることがあります。

HPHPHPH

リケーション・ソフトウェアを判別し、それに適当と思われるドライバの設定を[文字のプリント]、[グラフィックスのプリント]の中から自動的に選択します。[文字のプリント]が選択される主なアプリケーション・ソフトウェアは、以下のものです：

Lotus 1-2-3, Lotus AmiPro, Lotus Approach, MS Excel, MS Word, MS Access, MS Works, Windows Write, メモ帳, WordPerfect, Borland Paradox, Borland Quattro Pro

尚、メモ帳では、600dpiの印刷で左マージン設定に正しく動作しない場合があるため、自動的に300dpiが選択されます。

[文字のプリント]では、Windows の TrueType フォントをプリンタに高速にダウンロード。これにより、グラフィックスの印刷のために使用できるプリンタのメモリは制限されますが、文字の印刷は極めて高速となりプリンタ フォントのように快適です。もし、メモリ・オーバーフローが発生する場合は、[グラフィックスのプリント]を選択します。

[グラフィックスのプリント]では、TrueType フォントもグラフィックスとして処理。プリンタのメモリをグラフィックスの処理に最大限使用することによって、より複雑なグラフィックスの印刷も可能とします。もし、メモリ・オーバーフローが発生する場合は、[300dpi プリント]を選択します。

[高品質プリント]では、プリンタのメモリが不足した場合にも印刷を可能にするイメージ・アダプトの機能を使用しません（他のモードでは自動的に使用）。そのため、メモリが不足した時でもイメージ圧縮を行って一部の品質を下げて印刷せずに、メモリ・オーバーフロー エラーを発生します。OHPシートの印刷など必ず高品質な出力が必要な時、用紙を無駄にすることがありません。

[300dpi プリント]では、少ないプリンタ メモリで印刷が可能です。600dpiの印刷でメモリ・オーバーフローが発生して印刷できない場合、この設定を選択します。

[マニュアル設定]では、すべての設定をマニュアルで行うことが可能です。

3) TrueType フォントの高速印刷

[文字のプリント]を選択した場合、または、[マニュアル設定]から[TrueType をダウンロードする]を選択した場合、Windows の TrueType フォントをプリンタに高速にダウンロードして印刷します。プリンタ ドライバおよびプリンタでのキャッシュテクノロジーがプリンタ フォントに引けをとらないパフォーマンスを実現します。

4) HP-GL/2 のサポート

従来の HP LaserJet プリンタと同様に、HP-GL/2 がプリンタ ドライバでサポートされます。グラフィックスの印刷速度を特に重視する場合、HP-GL/2 を使用しての印刷が効果的です。ただし、一般に HP-GL/2 を使用した印刷では、グラフィックスをラスタ グラフィックスとして処理する場合に比べ、プリンタのメモリを多く必要とします。必要に応じて、[マニュアル設定]から選択します。

5) 欧文プリンタ フォントのサポート

プリンタ ドライバでは、HP LaserJet 5L が内蔵する Intellifont フォントをサポートします。プリンタ内蔵フォントは、アプリケーション・ソフトウェアの”書体選択”メニューなどでは、書体名の左横にプリンタのアイコン付きで表示されています。これらのフォントに対するスクリーン フォントがないため、スクリーン上の表示は Windows が持っているなるべく近い別のフォント

が代用されますが、印刷にはプリンタ内蔵のスケーラブル・フォントが使用されるため、高速かつ高品質に印刷が行なわれます。

6) グラフィックス品質のサポート
　600dpi のモードにおいて、600、300、150dpi の解像度が、また、300dpi のモードおいて 300、150、75dpi の解像度がサポートされています。これらの解像度の設定は、[マニュアル設定]から[グラフィックス品質(Q)]における[高品質]、[普通]、[ドラフト]の選択によって行います。

7) エコノモードのサポート
　トナーの消費量を制限し、トナー カートリッジをより長く使用することができます。
エコノモードでの出力は[ドラフト]のグラフィックス品質と似ています。トナーの消費を少なくするために使用するドットが少なくなるようにコントロールしています。経済性、環境にやさしい機能です。

8) 印刷濃度のサポート
　好みに合わせて印刷濃度が設定できます。設定は５段階。[オプション]パネルで設定します。

9) エンハンスド Ｉ／Ｏのサポート
　プリンタのＩ／Ｏバッファの大きさを最適にコントロールすることによって、少ないプリンタ メモリを最大限に使用します。[オプション]パネルで設定します。

10) REt のサポート
　REt とは、印刷品質を向上させるためのヒューレット・パッカード社独自の印刷技術 "Resolution Enhancement technology" です。[オプション]パネルにおいて選択します。

HPHPHPH

刷を行なう場合には、[テキストのプリント]を選択することによって、多くの場合、より高速な印刷をすることが期待できます。TrueType フォントの印刷では、[テキストのプリント]を使用することで[グラフィックスのプリント]に比べて印刷速度が最高８倍程度高速になります。

HPHPHPH

4) プリンタ ドライバでは、多様な機能の設定が可能です。アプリケーション・ソフトウェアでは、プリンタ ドライバの機能に合わせてその処理を行うため、[グラフィックス モード]などの機能を変更した時はその情報をアプリケーションで設定し直す必要があります。アプリケーション・ソフトウェアによっては、プリンタ ドライバの機能を起動時に一度だけ行うものがあり、起動中に[コントロール パネル]から[グラフィックスモード(G)]を変更したり、アプリケーション・ソフトウェアの[印刷]ダイアログボックスから変更した場合、その後動作が不安定になる場合があります。

動作が不安定になった時は、アプリケーション・ソフトウェアを一度終了し、[コントロール パネル]からプリンタに関する設定を行い、もう一度起動し直して見てください。

5) [プリント マネージャ]を使用して大量の文書を印刷する場合、印刷の途中から出力が正しく処理されなくなることがあります。また、一部のアプリケーション・ソフトウェアでは[プリント マネージャ]を使用しないことを推奨しています。なるべく[プリント マネージャ]を使用しないことをお薦めします。[プリント マネージャ]を使用しないようにするためには、Microsoft Windows 3.1J の [コントロールパネル]から[プリンタ]アイコンを選択し、[プリント マネージャを使う(U)]のチェック ボックスをクリアしてください。

6) WIFE フォントはグラフィックス イメージとして処理されます。そのため、[マニュアル設定]ダイアログ ボックスでの[グラフィックス品質(Q)]、アプリケーション・ソフトウェアの[印刷]ダイアログ ボックスでの[印刷品質]での低解像度の設定が、WIFE フォントの印刷品質にも影響します。

[マニュアル設定]ダイアログ ボックスでの[グラフィックス モード(G)]でラスタ モードを選択し、 WIFE フォントのテキスト文字の印刷を行う場合、低解像度を選択すると文字に関するグラフィックスイメージのスケーリングが正しく行われません。印刷する文書に WIFE フォントを使用している場合は、[高品質]を使用してください。

7) [文字のプリント]、および[マニュアル設定]での "HP-GL/2" グラフィックス モードでは、WIFE フォントを使用するとメモリ・オーバーフローが発生しやすくなります。WIFE フォントを使用した文書の印刷には[グラフィックスのプリント]を選択してください。

8) WIFE フォントを用いて縦書き印刷を行う場合、Microsoft Windows 3.1J はその文字列をメモリ上で回転させて、そのグラフィックス イメージを出力しようとします。

回転させる文字列に必要なメモリ サイズが大きい場合、回転できずにエラーが発生する可能性が報告されています。これはアプリケーション・ソフトウェアの処理の方法にも依存しますが、そのような場合は TrueType フォントを使用してください。

9) WIFE フォントを使用する場合、メモリの不足から印刷時に文字の抜け、あるいは文字にゴミが入る可能性があることが報告されています。本製品は

600dpi であるために、300dpi の製品に比べその可能性がより高くなることが予想されます。そのような場合は、もう一度印刷し直すか、TrueType フォントを使用してください。

10) WIFE フォントなどのいわゆるシステムのラスタ フォントをボールド化する場合、または TrueType フォントを[TrueType をダウンロードしない]を選択してボールド化する場合、これらは１ドット分だけずらして印刷することによってボールド化されます。この時 600dpi では、１ドットが 300dpi と比較して小さいためボールドに見えにくい場合があります。

ボールドをより強調したい時は、TrueType フォントを指定して[印刷品質]パネルで[文字のプリント]を設定するか、もしくは[マニュアル設定]から[テキスト モード(T)]で[TrueType をダウンロードする]を選択してください。プリンタ ドライバが独自のボールド化を行います。

11) 極端に大きなサイズの WIFE フォントを印刷した場合、その文字のグラフィックス イメージを作成するのに必要なメモリ サイズが大きすぎてエラーが発生する場合があります。これはアプリケーション・ソフトウェアの処理の方法にも依存しますが、そのような場合は TrueType フォントを使用してください。

12) ページのマージンや、セルの境界と TrueType フォントの印字位置が重なった場合、その文字は印字されないことがあります。この場合は、ページ マージンや セル サイズを調整してください。

13) アプリケーション・ソフトウェア上で、細い罫線を指定した場合、一部のアプリケーション・ソフトウェアでは、印刷時に、極端に細い幅の線を使用しようとする場合があります。この際、罫線がきれいに印刷されない可能性があります。この場合は、もう少し太い罫線を選択してください。

14) グラフィックスに関する印刷では、ディスプレイ ドライバの処理に強く依存する場合があります。印刷結果、あるいはアプリケーション・ソフトウェアの文字の処理が期待したものと異なる場合、使用しているディスプレイ ドライバを変更してみることも一つの方法です。

15) Microsoft Windows 3.1J の [メモ帳]を使って印刷する場合、600dpi の解像度を使用すると左マージンが正しく設定されない場合があります。600dpi では、左マージンを 0~1.38cm（0~0.55 インチ）、2.53~3.92cm（1.0~1.55 インチ）の間に設定すると、正しく印刷することができます。また、[マニュアル設定]ダイアログ ボックスの[解像度]で 300dpi を選択すれば左マージンは正しく設定されます。

また、他のアプリケーション・ソフトウェアでも同様な障害が発生する可能性があります。そのような場合は、適宜マージンを設定してみてください。

16) Aldus PageMaker 4.0J & 5.0J（アドビ システムズ株式会社）を使用して出力を行う場合、複雑なグラフィックスやテキストを印刷しようとすると[修復不可能なアプリケーション エラー]が発生する可能性があります。

そのような場合は、複雑なグラフィックスを少なくする、もしくは解像度を

300dpi にするなどによってエラーを回避できる可能性があります。文書の作成に当たっては、こまめに文書の保存を行うことをお薦めします。

17) AmiPro 3.0J & 3.1J において、文書中のグラフィックスの印字が期待通りに印刷されない場合は、AmiPro が独自のアプリケーション情報を記録している AMIPRO.INI ファイルの中のフラグを下記のように変更し、AmiPro を再起動してから印刷するとよい場合があります。

変更前： HPLJClipping = 0

変更後： HPLJClipping = 1

AMIPRO.INI ファイルは、通常、windows ディレクトリの下にあります。

18) 大きなラスタ イメージを含むような大きな文書を印刷している途中で印刷をキャンセルした場合、出力にごみが印刷される場合があります。そのような場合、プリンタのボタンを、約5秒間押したままにしてリセットしてください。

19) DOS のシステム、アプリケーションによっては CONFIG.SYS ファイルに DOS からの印刷のための特別なプリンタ・ドライバを定義しているものがあります。これらのプリンタ・ドライバは、印刷する文書の内容によってはその出力に障害となることがあります。HP LaserJet 5L プリンタ・ドライバをご使用の時は、これらのドライバを CONFIG.SYS ファイルから削除してください。
尚、DOS アプリケーションによっては、そのインストール時に新たに特別なプリンタ・ドライバを CONFIG.SYS ファイルに追加するものがあります。DOS アプリケーションをインストールした際は、CONFIG.SYS ファイルにその様なドライバがないことを確認することをお薦めします。

20) HP LaserJet 5L プリンタはウィンドウズ専用プリンタです。よって、MS-DOS(DOS プロンプトを含む)からの印刷はサポートしていません。

HPHPHPH

2) ステータス・ウィンドウは、プリンタとコンピュータ間の双方向通信機能を用いてプリンタのステータスを把握しています。従って下記のような場合はサポートしておりません。

＊コンピュータのプリンタ ポートに双方向通信の機能がサポートされていない場合。

＊コンピュータのプリンタ ポートの双方向通信機能が、IEEE-1284 規格に準拠していない場合。

＊HP LaserJet 5L プリンタが、コンピュータの標準プリンタ ポートに直接接続されていない場合。例えば、プリンタ切換え器、プリンタ バッファ装置、プリンタ ポート増設カード等を使用している場合。

＊コンピュータとプリンタの接続に、IEEE-1284 準拠のパラレル ケーブルを使用していない場合。

上記のような場合でも、プリンタ ドライバをインストールすれば、大抵の場合は、HP LaserJet 5L プリンタを使用して印刷できます。

3) Microsoft Windows 3.1J は、すでに２度アップデートされています。ステータス・ウィンドウをご使用の際は、必ず最新版の Microsoft Windows 3.1J にアップデートしてください。

4) HP LaserJet 5L 以外の HP LaserJet プリンタを使用した場合、メイン ステータス・ウィンドウのプリンタ リスト ボックスにリストされることがありますが、HP LaserJet 5L 以外サポートしておりません。ただし、HP LaserJet 4LJ Pro プリンタはサポート可能です。別章を参照ください。

5) 一部のフォントやフォント ドライバでは、ステータス・ウィンドウが使用しているフォントをこれらに変更してしまうものがあります。これらを搭載しているコンピュータでは、ステータス・ウィンドウの表示に影響がある場合があります。

6) ステータス・ウィンドウでは、MS 明朝等の Microsoft Windows 3.1J 標準添付のフォントを使用しています。もし、これらのフォントが削除されている場合、ステータス・ウィンドウの表示に影響がある場合があります。

7) 英語版 HP LaserJet Printing System に含まれる ステータス・ウィンドウ や、他社製の同種のソフトウェアとの混在はサポートしていません。別章を参照ください。

8) 例えば、プリンタ ケーブルの接続を HP LaserJet 5L プリンタから HP LaserJet 4LJ Pro プリンタに変更した時など、プリンタとコンピュータの双方向通信を一時的に切断した場合、ステータス・ウィンドウが正常に動作し始めるまで３０秒余りかかることがあります。

HPHPHPH

HPHPHPH

これら Microsoft Windows 3.1J向け 日本語版 HP LaserJet プリンタにはステータス・ウィンドウがありません。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウも、これらのプリンタをサポートしません。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウとこれらのプリンタ用ドライバは混在できます。印刷の際、コントロール パネル 等から使用するプリンタを選択してください。

3) 他の HP製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウとの混在

まず、ご使用になるプリンタ用の Printing System の説明ファイルを参照ください。通常、HP LaserJet 5L プリンタより後に発売されたプリンタ用のステータス・ウィンドウは HP LaserJet 5L プリンタをサポートできるはずです。HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウとの混在についての説明が無かった場合には、基本的に次のようにしてください。

HP LaserJet 5L プリンタを使用する場合は、他の HP製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウを削除してから HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウをインストールしてください。通常、[セットアップ削除]のユーティリティが準備されています。

他の HP製プリンタ、および HP製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウを使用する場合は、HP LaserJet 5L グループ アイコンを開け、[セットアップ削除]を使用して、すべての HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウ関連ファイルを削除してください。その後、他の HP製プリンタ用日本語版ステータス・ウィンドウをインストールしてください。

4) HP製 英語版ステータス・ウィンドウとの混在

HP製 英語版ステータス・ウィンドウは、Microsoft Windows 3.1J ではサポートされていません。同様に、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウは、Microsoft Windows 3.1J 以外ではサポートされていません。従って、両者は混在できません。

HP製 英語版プリンタ ドライバも、Microsoft Windows 3.1J ではサポートされていません。

何等かの原因で、HP製 英語版ステータス・ウィンドウがインストールされてしまっている場合には、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウをインストールする前に、すべての HP製 英語版ステータス・ウィンドウ関連ファイルを削除し、HP製 英語版ステータス・ウィンドウのインストール時に変更されたプリント マネージャ等を元の状態に戻さなければなりません。しかるべきバックアップを実施後、HP製 英語版ステータス・ウィンドウの
README ファイルを参考に実施してください。

（HP製 英語版ステータス・ウィンドウの削除 参考例）

下記は参考例です。すべてがこの通りとは限りません。

1. windows ディレクトリより下記のファイルを削除

hppdf*.dll

hp*.hlp　　：ダブル クリックするとヘルプがスタートします。HP製 英語版ステータス ウィンドウのヘルプであることを確認後、削除してください。
hpsw.exe　：hpljsw.exe が存在する時はこれも削除。
hpljps.ini

2. windows\system ディレクトリより下記のファイルを削除

hpljvpd.386
commctrl.dll
hplj4qp.dll
hpljcomm.dll
hppjlmon.dll

3. win.ini ファイルより下記を削除

[windows]
load=hpsw.exe　（または hpljsw.exe）
DosPrint=*

[spooler]
QP.LPT*=hplj4qp.dll

4. バックアップファイルのリストア

左辺のファイルが存在している場合は右辺に変更。存在していないときは、Microsoft Windows 3.1J を再インストールする等が必要になる場合があります。

printman.hpe　->　printman.exe
printman.hph　->　printman.hlp
threed.hpv　->　threed.vbx

5) 他社製の同種のプリンタ ユーティリティとの混在

他社製の HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウに類似したプリンタ ユーティリティ（WPS: Windows 用 Printing System 等）がインストールされている場合は、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウをインストールする前に、すべての他社製プリンタ ユーティリティ関連ファイルを削除し、他社製プリンタ ユーティリティのインストール時に変更されたプリント マネージャ等を元の状態に戻さなければなりません。その後、HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウをインストールしてください。

他社製プリンタ ユーティリティを使用する場合は、HP LaserJet 5L グループ アイコンを開け、セットアップ削除を使用して、すべての HP LaserJet 5L ステータス・ウィンドウ関連ファイルを削除してください。その後、他社製プリンタ ユーティリティをインストールしてください。

HPHPHPH